

# ソフトカーとあるく・銀座・ウインのつどい 開催のご案内

日 時：2012年9月8日（土） 16:00～  
会 場：銀座フェニックスプラザ（紙パルプ会館）ラウンジ・パピエ  
（銀座3丁目9-11）と周辺（銀座2～4丁目）

ゆっくりはしるソフトカーと銀座をあるき、  
絵本「ウインの希望のものがたり」を重ねて、  
みんなの思いを語りあいます。人にやさしい  
まちと社会をめざします。



▲ 銀座3丁目交差点を横断するソフトQカー（モンタージュ）



▲ 銀座フェニックスプラザと周遊コース

愛梨ちゃんの遺影の前で絵本「ウインの希望のものがたり」を読む石巻  
の佐藤美香さんと珠莉ちゃん（読売新聞宮城版 2012. 7.28 より）▶



プログラム：16:00～ (プレイベント) 紙パルプ会館屋上 銀座ミツバチ養蜂場見学  
16:30～ 受付 (紙パルプ会館1階ロビー)  
17:00～18:15 ソフトQカーと銀座まちあるき (銀座2～4丁目)  
18:30～20:30 ウインのつどい ((紙パルプ会館1階ラウンジ・パピエ)

**主催：ソフトカーとあるく・ウインのつどい実行委員会**

**問合せ先**

じゃこめてい出版 ([ishikawa-m@jakometei.com](mailto:ishikawa-m@jakometei.com) 03-3261-7668 )  
千葉商科大学政策情報学部 小栗研究室 ([oguri@cuc.ac.jp](mailto:oguri@cuc.ac.jp) 090-8744-7511)  
一般社団法人子ども安全まちづくりパートナーズ ([info@kodomo-anzen.org](mailto:info@kodomo-anzen.org) 石井)  
<http://win-hope.jimdo.com/> <http://kodomo-anzen.org>

## ごあいさつ

拝啓 秋の訪れが待たれる季節、いよいよご清祥のこととお慶びもうしあげます。平素、格別のご高配をたまわり、厚く御礼申しあげます。

さて、きたる9月8日(土)、「ソフトカーとあるく・銀座・ウインのつどい」を開催いたします。この集まりは、交通、震災、津波などの災害の悲しみを越え、人にやさしいまちと社会の実現をめざして開催するものです。

当日は、「ソフトカー(上限速度の設定装置や外部への速度表示装置などを搭載した人や環境に優しい車)」の電気自動車版「ソフトQカー」3台が最高速度を時速2kmに設定して走り(最高速度時速は50km)、参加者はいっしょに歩き、人と車が共存したまちを体感します。参加者にもソフトQカーの運転を体験していただけます。

その後、銀座フェニックスプラザ(紙パルプ会館)1階ラウンジ・パピエで、絵本「ウインの希望のものがたり」の朗読と、絵本に重ねた参加者の思いを語りあいます。この絵本は、ソフトカーの開発プロジェクトチーム代表を務める千葉商科大学教授の小栗幸夫が、被害の悲しみと希望をみんなで共有しようとしたものです。

この集まりには、築地警察署、銀座通連合会、松屋通商店会、株式会社紙パルプ会館、特定非営利法人銀座ミツバチプロジェクトのみなさまの特段のご支援をいただきました。

今後、同様な集まりを各地で開催する第1回と位置づけています。

是非とも当イベントを広報・取材をお願いしたくご案内申しあげます。ご多忙中と存じますが、ご検討の程よろしく願いもうしあげます。

敬具

2012年8月30日

ソフトカーとあるく・ウインのつどい実行委員会

### 幹事

石川 眞貴	じゃこめてい出版
石井 洋平	side-dish 子ども安全まちづくりパートナーズ
中村 利恵	くらやみ坂ゆっくりはしろう運動
佐藤 清志	全国交通遺族の会
刀根麻理子	歌手、エッセイスト
白坂 亜紀	銀座稲葉
小栗 幸夫	ソフトカーチーム、千葉商科大学政策情報学部

# ソフトカーとあるく・銀座・ウインのつどい

ここからはじまる せかいにひろがる



日時: 2012年9月8日(土)

16:30 受付  
17:00~ソフトQカーと銀座まちあるき  
18:30~ウインのつどい

場所: ラウンジ・パピエ  
銀座フェニックスプラザ(紙パルプ会館)1階  
Tel.03-3543-8117  
<http://www.kamipa-kaikan.co.jp/>

## ごあんない

おおぜいの人の思いがつながって 『ウインの希望のものがたり』が生まれました。そして、出版後、新しい思いがあつまっています。

9月8日、まちにやさしい車・ソフトカーといっしょに銀座をあるきます。そして、悲しみを体験した人も、そうでない人もいっしょになり、みんなの思いをかたりあいます。

これからいろいろなまちでソフトカーを走らせ、ウインのつどいを開き、あたらしいプロジェクトが生まれるきっかけをつくっていきたくて考えています。

ご家族やおともだちといっしょにご参加ください。

## プログラム

- 16:00~ 銀座ミツバチ養蜂場訪問  
(銀座フェニックスプラザ屋上。  
参加ご希望の方は15:45をめどに  
同ビル1階フロアにお集まりください。)
- 16:30~ 受付(パピエ・ロビー)
- 17:00~18:15 ソフトQカーと銀座まちあるき  
電気自動車ソフトQカーは道路にふさわしい  
最高速度を設定して走ります。  
みなさんにも運転していただけます。
- 18:30~20:30 ウインのつどい(パピエ)  
軽食、飲みものといっしょに、ウインとともに  
世界に伝えたい思いを語りあいます。  
ウインの希望のものがたり 朗読 刀根 麻理子



参加費: 3,500円 学生1,500円(軽食・ドリンク付き)

### 幹事:

- 石川 眞貴 じゃこめてい出版 [ishikawa-m@jakometei.com](mailto:ishikawa-m@jakometei.com)  
石井 洋平 side-dish [ishiy@s-d-w.jp](mailto:ishiy@s-d-w.jp)  
中村 利恵 くらやみ坂通りゆっくり走ろう運動  
[riecafe@gmail.com](mailto:riecafe@gmail.com)  
佐藤 清志 全国交通事故遺族の会  
[naohs-519h645@tree.odn.ne.jp](mailto:naohs-519h645@tree.odn.ne.jp)  
刀根 麻理子 歌手、エッセイスト [info@imagine911.com](mailto:info@imagine911.com)  
白坂 亜紀 銀座稲葉 [shirasaka.aki@nifty.ne.jp](mailto:shirasaka.aki@nifty.ne.jp)  
小栗 幸夫 ソフトカーチーム、千葉商科大学政策情報学部  
[oguri@cuc.ac.jp](mailto:oguri@cuc.ac.jp) 090-8744-7511

※会場準備のため、ご参加の方は9月6日(木)までに、幹事宛てご連絡ください。

### 協力:



あわやのぶこ  
知半アートプロジェ  
クト(伊豆・知半庵)



悲しみの親 励ます絵本 2012.7.28 読売新聞  
悲劇を繰り返さないために 2012.8.21 中日新聞

小栗幸夫  
『ウインの希望のものがたり いつも あなたの こども』  
じゃこめてい出版 2012.6刊  
1,260円(会場では1,000円でご購入いただけます。)

『ウインの希望のものがたり』公式サイト  
<http://win-hope.jimdo.com>

● ソフトカーと銀座まちあるき（17:00～18:15）概要



1. 築地警察署の道路使用許可を得て、ソフトQカー3台は最高速度2kmに設定して走り、参加者はソフトQカーと一緒に車道・歩道を歩きます。
2. 銀座フェニックスプラザ（紙パルプ会館）をスタート地点とし、上図の ① → ② → ③ の順に回遊します。銀座通り（中央通り）は当日歩行者天国のため、横断時はソフトQカーを手押しします。
3. 参加者もソフトQカーを試乗することができます。
4. 回遊後、銀座の各通りの適正速度について簡単なアンケート調査をおこないます。

● ウィンのつどい (18:30~23:00) 概要

総合司会 中村 利恵 くらやみ坂ゆっくりはしろう運動  
石井 洋平 Side-Dish 子ども安全まちづくりパートナーズ

「ウィンの希望のものがたり」朗読 刀根麻理子 歌手、エッセイイスト

挨拶

石川 眞貴 じゃこめてい出版 「ウィンの希望のものがたり」担当  
前田 敏章 北海道交通事故被害者の会代表  
田中 淳夫 株式会社紙パルプ会館 専務取締役  
銀座ミツバチプロジェクト副理事長 (調整中)

白坂 亜紀 銀座稲葉  
佐藤 清志 全国交通事故遺族の会  
原科 幸彦 日本計画行政学会名誉会長、千葉商科大学政策情報学部教授  
小栗 幸夫 ソフトカーチーム、千葉商科大学政策情報学部

他

メッセージ参加

森山 大道 写真家  
日航ジャンボ機墜落事故被害家族 (調整中)  
佐藤 美香 石巻 日和幼稚園園児事故家族

高橋 泉 一級建築士事務所 Architecture@ism (唐津)

ブリジット・ショードリー 道路交通被害者支援団体 RoadPeace (London) 代表  
欧州交通被害者連盟 (FERV) 前会長  
「世界道路交通犠牲者の日」提唱者

エレニ・カリディ ギリシャ ロードス交通事故被害者支援協会会長

他

参加者 別途作成

# 悲しみの親 励ます絵本

亡くなった子どもの魂が、自分の親やつらい境遇にある子どもの元を訪れ、優しく見守る様子を描いた絵本「ウインの希望のものがたり」が、震災で子どもを失った遺族らの共感を呼んでいる。作者の千葉商科大学教授、小栗幸夫さん(65)は、姉の交通事故死をきっかけに、「事故で家族を失った遺族の苦しみを少しでも和らげることはできないか」と5年をかけて描き上げた。



震災で亡くなった佐藤愛梨ちゃんの遺影の前で、「ウインの希望のものがたり」を読む母・美香さんと次女・珠莉ちゃん(19日、石巻市で)＝飯島啓太撮影

絵本は、不慮の事故で命を失った子どもの魂「ウイン」が風となり、親や友達のもとを訪れる物語。「ありがとう／パパ／ママ／わたしは／いつも／あなたのことをです」と親に感謝の言葉を伝える様子や、壊れた町で一人傷つく子どものそばでほほえみを取り戻すまで見守り、「うん／だいじょうぶ／またくるね」と励ます様子を描く。亡き我が子にそう思っていてほしい

という親の気持ちらが代弁されているという。小栗さんは1997年、姉の妙子さん(当時59歳)を交通事故で亡くした。これをきっかけに、交通事故で家族を失った国内外の遺族の元を訪れる傍ら、2007年に絵本を描き始めた。

## 亡くなった子どもの魂描く 作者は大学教授

昨年5月、被災地で何か支援できないかと、校舎が焼けて全壊した石巻市立門脇小の近くを訪れた際、私

立日幼稚園のバスが津波で流された現場で手を合わせる、佐藤愛梨ちゃん(当時6歳)を亡くした母親の美香さん(37)に偶然出会い、交流が始まった。

同8月、絵本を見せたところ、美香さんが「(長女の)愛梨が絵本に描かれているように思っていてくれたら、守れなかった母親として救われる」という声に後押しされ、出版することにしたという。

日本では毎年約5000人もが交通事故で亡くなっている。今年4月には京都府亀岡市で、登校中の小学生の列に軽自動車が入り込むという痛ましい事故も起きた。現場に足を運んだ小栗さんは「日常の中に脅威が潜んでいる」と言う。

事故の起きないクルマの研究開発に取り組み小栗さんが、遺族の悲しみを癒し、また悲しみを皆へ分かちあうことを志願を繰り返さないように書いた絵本「ウインの希望のものがたり」が、今年6月に発刊された。

も、パパもママも姿は見えない子どもの写真。愛するはず、声も聞かせない。交通事故で突然、この世界を去ってしまったからです。「いつもわたしのことをおもって、わが子の名前をよんで、つれていてくれるから、あわくママ、テーブルの上から、せと感しています。」

「楽しいことばかりだよさみしくないよ、まわりにも風があるから、ともだちといっしょで、わかるから」とウイン。そして夜になると、いちばん好きなパパとママが眠るシーツの中に帰って、幸せなこの夢を見る。

小栗さんは、交通事故の状況を知るため世界中の事故現場や被害者の集まりに足を運んでいる。そのなかで出会ってきたのが、突然わが子を奪われた遺族たち。自身も姉を交通事故で亡くした経験を持つ小栗さんが、「言葉にさえならない悲しみを抱えて生きていかなければならぬ人たちが、ウインが癒してくれたら。そして、子どもが被害に遭うことのない街づくりへの希望を少しでも皆で感じることで、そと話しかけたら、また世界を飛びまわるといふ物語だ。」

ときに涙を流し、書き直して繰り返したこの絵本は、完成までに長い年月がかかった。最終的に発刊に踏み切らせたのは、3・11後何度も訪れた被災地で偶然出会った母の望みからだった。

■出版社 じゃこめてい出版  
■言語 日本語(英訳つき)  
■定価 1260円

「あなたがどう、パパ、ママ、わたしは、いつもあなたのこともです」

を亡くした家族と長年、交流してほしくな。悲劇を繰り返してほしくない。そして、残された家族の癒やしになつてほしい。そんな思いからウインは生まれました。(絵本文・小栗幸夫、じゃこめてい出版、千三百六十円)